

## 催し物のご案内 (7月～9月)

### 観覧会・講座等

1. 博物館スクール  
「ちょっと大きくしてみよう」〔博物館〕  
日時：7月25日(土) 13:30～15:30  
対象：小中学生20名(抽選)  
募集：6月16日(火)～7月7日(火)
2. 博物館スクール・友の会共催「夜の昆虫探検隊」〔山北町・西丹沢中川温泉・丹沢荘〕  
日時：7月26日(日)～27日(月) 1泊2日  
対象：小中学生とその保護者40名(抽選)  
費用：おとな7,000円、こども5,000円  
募集：6月16日(火)～7月7日(火)
3. 研究テクニック講座「化石研究講座」〔博物館実習実験室〕  
日時：7月29日(水)・30日(木)・31日(金) 全3回10:00～16:00  
対象：教員15名(抽選)  
募集：6月23日(火)～7月14日(火)
4. 博物館スクール  
「オオカミってどんな動物?」〔博物館〕  
日時：8月8日(土) 10:00～15:00  
対象：小中学生40名(抽選)  
募集：7月7日(火)～7月28日(火)
5. 室内学習「博物館ボランティア講座」  
障害者等利用者への案内、誘導の方法を学ぶ〔博物館〕  
日時：8月11日(火)・12日(水)・22日(土)・23日(日) 全4回10:00～15:00  
対象：一般30名  
募集：7月7日(火)～7月28日(火)
6. 博物館スクール「化石教室」〔博物館〕  
日時：8月20日(木) 10:00～15:00  
対象：小中学生40名(抽選)  
募集：7月14日(火)～8月4日(火)
7. 博物館スクール「博物館探検隊」〔博物館〕  
日時：8月26日(水) 10:00～15:00  
対象：小中学生40名(抽選)  
募集：7月21日(火)～8月11日(火)
8. 公開講演会「神奈川県西部の活断層と地震」〔博物館〕(日本第四紀学会との共催)  
講師：西南学院大学教授 松田時彦氏  
日時：8月29日(土) 13:30～15:00  
対象：一般100名(申し込み制)及び日本第四紀学会会員  
募集：7月21日(火)～8月11日(火)
9. 野外観察「箱根の植物群落」〔箱根町駒ヶ岳〕  
日時：9月11日(金) 9:30～15:00  
対象：一般50名(抽選)  
募集：8月4日(火)～8月25日(火)
10. 野外観察「水辺の昆虫ウオッチング」〔愛川町八菅〕  
日時：9月12日(土) 10:00～15:00  
対象：小・中学生とその保護者50名(抽選)  
募集：8月4日(火)～8月25日(火)
11. 室内実習「くだものと野菜観察」〔博物館〕  
日時：9月26日(土) 14:00～15:30  
対象：一般・教員40名(抽選)  
募集：8月18日(火)～9月8日(火)

応募方法：往復はがき(9.の公開講演会への申し込みは通常のはがきで結構です)に参加行事名、参加代表者の住所、氏名、電話番号(連絡先)、参加する人全員の氏名と年齢(学年)を明記して、お申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。

### 「身近な自然発見講座」

毎月第3水曜日に、一般の方を対象に、博物館周辺での自然観察や館内での実習・実験をする身近な講座を開催しております。参加費は無料ですが、バス代・電車賃が必要ことがあります。事前の申し込みはおりません。当日、歩きやすい服装で、博物館正面玄関にお集まりください。雨天の時は中止します。

持ちもの：筆記用具、ルーペ、昼食、水筒、雨具、双眼鏡など

6月17日(水) 10:00～15:00

博物館周辺での岩石観察

7月15日(水) 10:00～15:00

小田原市入生田周辺での動植物観察

### ライブラリー通信

## 植物学と植物画

当博物館において4月25日から1か月間小林政紘氏の植物画展が開催され大変好評を博しました。近年、植物画教室が博物館をはじめ、各種スクールなどで開講されて人気講座になっているようです。

ところで、植物学と植物画、あるいは植物学者と植物画家は歴史的にはどのような関わりをもってきたのでしょうか。『植物学と植物画』(八坂書房)はこの観点から両者の関係を考察したものです。優れた植物学者が同時に優れた植物画家という場合もありましたが、たいていの場合、お抱えの画家＝絵師を雇っていたようです。有名なところでは近代植物分類学の祖といわれるリンネと植物画家のG. D. エイレット。『ボタニカル・マガジン』を引き継いだ植物学者で名編集者でもあったフッカー父子と画家ウォルター・フィッチ。シーボルトとその絵師であった川原慶賀など植物学者と画家の結びつきは多数あります。

植物画家がいわば植物学者の視覚的表現の担い手として植物学の普及に果たした役割は大きなものがありますし、芸術表現としても秀れた多くの作品を残しています。植物学者の業績については多く語られてきましたが、そのパートナー、視覚的表現者であった植物画家について、私たちはその名前さえあまり知りません。

植物画家の多くはその生存中であってさえ一部の例外を除けばその業績にふさわしい待遇を受けることは稀で、『ウィリアム・カーティス花図譜』(同朋舎出版)によれば『ボタニカル・マガジン』を中心に生涯に1万点近い植物画を描いたと言われるフィッチでさえ経済的には恵まれなかったといえます。

植物学の発展を片側から支えた彼ら植物画家の業績が正当に評価されずにきたのは、何故だったのでしょうか。個々の植物画家が歩んだ人生そのものも興味引かれるものがあります。この辺りの事情については『植物図譜の歴史』(八坂書房)や荒俣宏著『図鑑の博物誌』(リプロポート)などが参考になるでしょう。

(司書・内田 潔)

## 特別展関連講座のご案内

### 「オオカミを語る」

特別展「オオカミとその仲間たち—イヌ科動物の世界—」に関連して連続自然科学講座を開催します。参加を希望される方は、通常のはがきでお申し込みください。3講座セットでの申し込みも受け付けます。

受付開始：8月4日(火)、受付締切：第1回とセット申し込みは9月1日(火)まで、第2回は9月7日(火)まで、第3回は9月14日(火)まで

第1回 9月6日(日) 13:30～15:30

「オオカミの社会生活」

講師：麻布大学教授 増井光子氏

第2回 9月13日(日) 13:30～15:30

「日本のオオカミ化石」

講師：群馬県立自然史博物館館長 長谷川善和氏

第3回 9月20日(日) 13:30～15:45

第1部 13:30～14:30

「日本人のオオカミ観」

講師：國学院大学 菱川昌子氏

第2部 14:45～15:45

鼎談：濱田隆士(館長)・菱川昌子氏・

中村一恵(学芸部長)